

# 土浦保健所管内感染症発生動向 2025年第48週(11/24~11/30)

この情報は速報性を重視しています。後日、数値に若干の修正が生じることがあります。

## 1 全数把握の感染症

感染症法の分類	疾患名・報告数
一類	報告なし
二類	結核 1 件
三類	報告なし
四類	報告なし
五類	百日咳 1 件

## 2 定点把握の感染症

4ページからのグラフをご覧ください。

## 3 発生動向のコメント

### 1) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

48週の1医療機関あたりの報告数は3.17と前週の2.33から増加しました。

### 2) インフルエンザ

**流行警報発令中**

48週の1医療機関当たりの報告数は109.67と前週の125.50から減少しました。

インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状もみられます。インフルエンザをはじめとする急性呼吸器感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」「室内換気」「加湿器の使用」などが有効です。

[令和7年度急性呼吸器感染症（ARI）総合対策 Q&A 厚生労働省ホームページへ](#)

[令和7年度今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策 厚生労働省ホームページへ](#)

[インフルエンザワクチン（季節性） 厚生労働省ホームページへ](#)

[茨城県のインフルエンザ流行情報・学級閉鎖等について 茨城県ホームページへ](#)



### 3) 急性呼吸器感染症（ARI : Acute Respiratory Infection）

48週の1医療機関当たりの報告数は250.17と前週の258.33から減少しました。

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症（ARI）が感染症法の5類感染症に位置付けられ、患者数の報告対象となりました。ARIとは、ウイルスや細菌などの病原体によって引き起こされ、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を呈する症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

### 4) 百日咳

流行が続いており、10歳代の報告が目立っています。生後6か月以下の乳児が感染すると、重症化して死亡するおそれがあります。予防にはワクチンが重要です。百日咳のワクチンは生後2か月から接種対象です。生後2か月になったら速やかに定期接種のワクチンを接種しましょう。

[百日咳とは 厚生労働省ホームページへ](#)

# 冬の感染対策

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳工チケット」「換気」です。

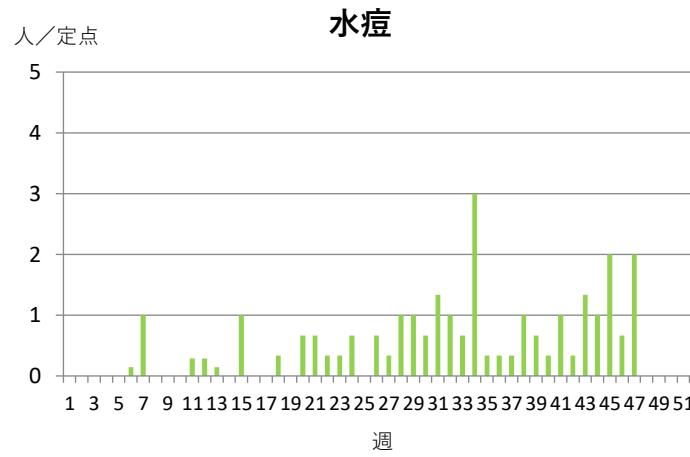
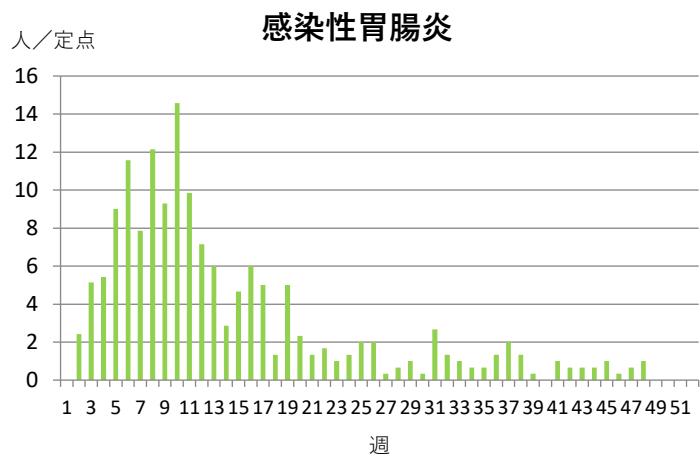
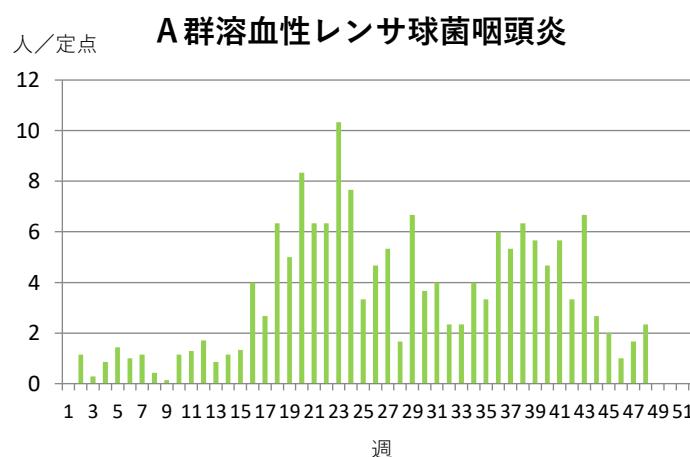
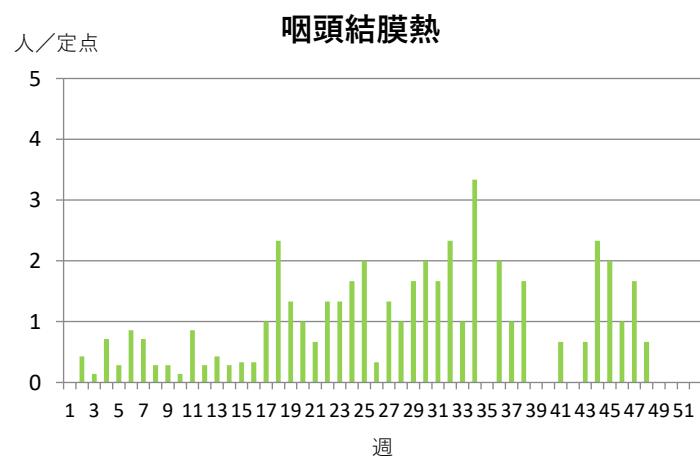
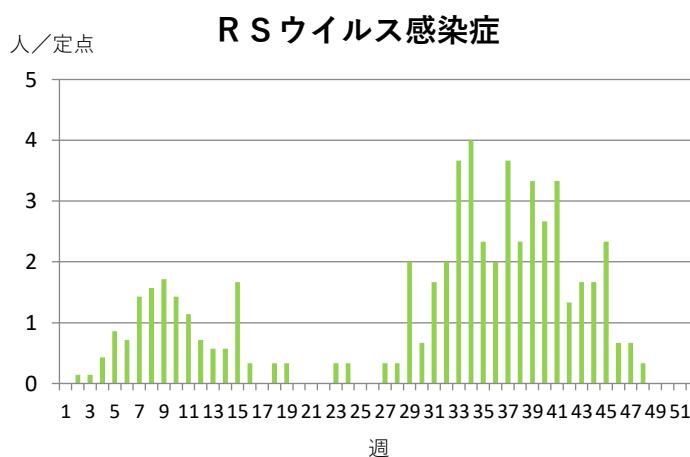
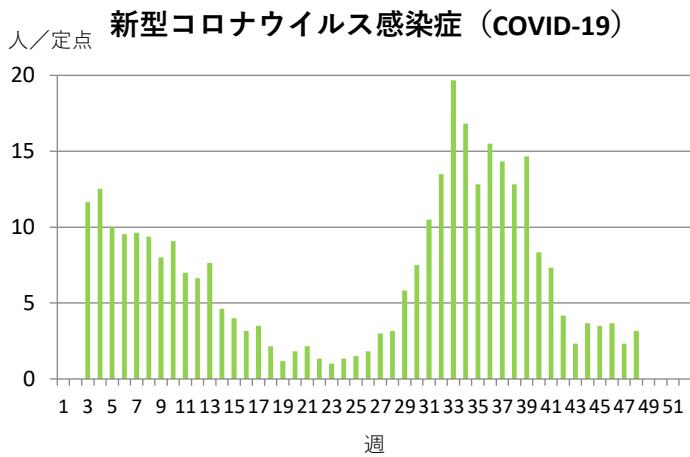
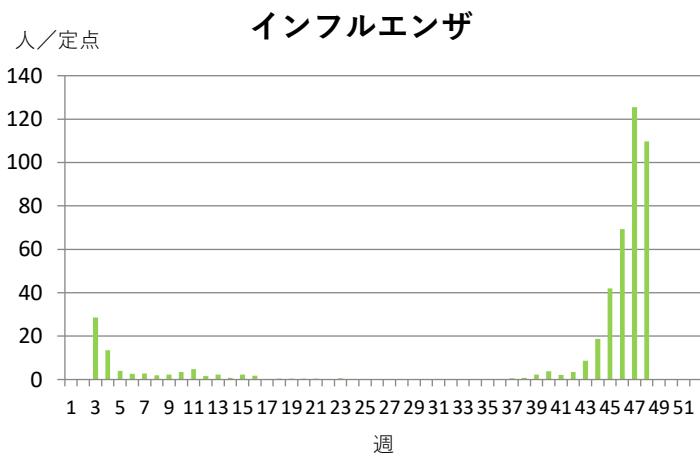
医療機関や高齢者施設などでは、重症化リスクの高い方への感染予防のためマスクの着用を求められることがあります。

## 正しい手の洗い方

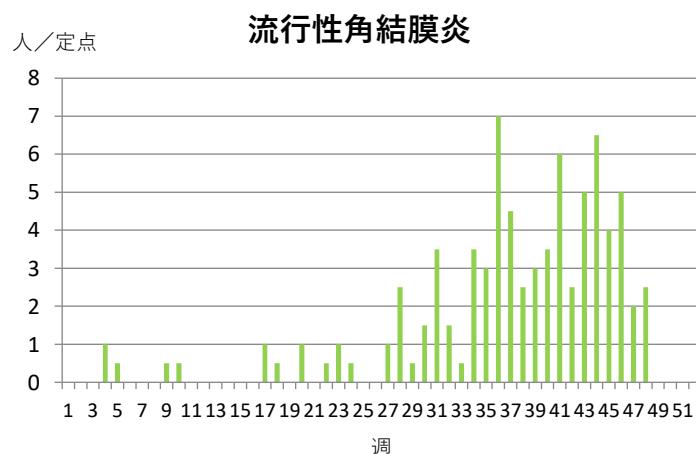
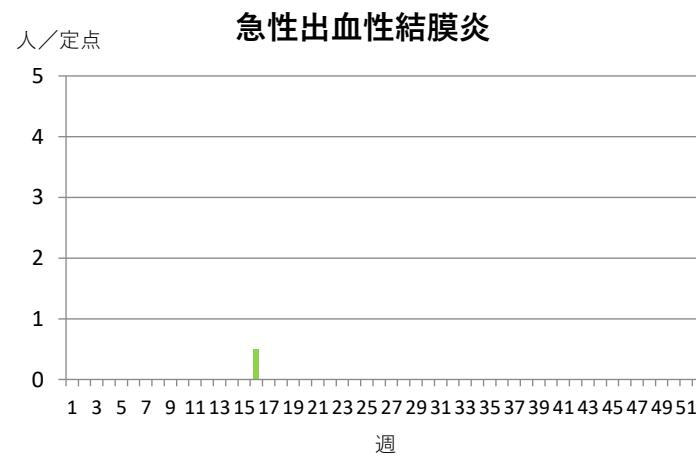
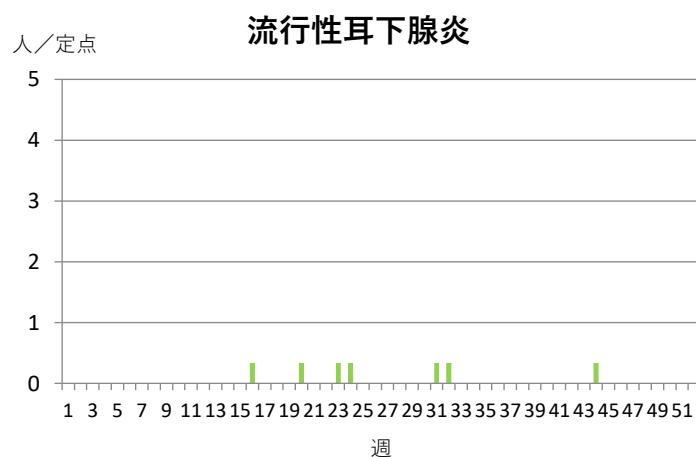
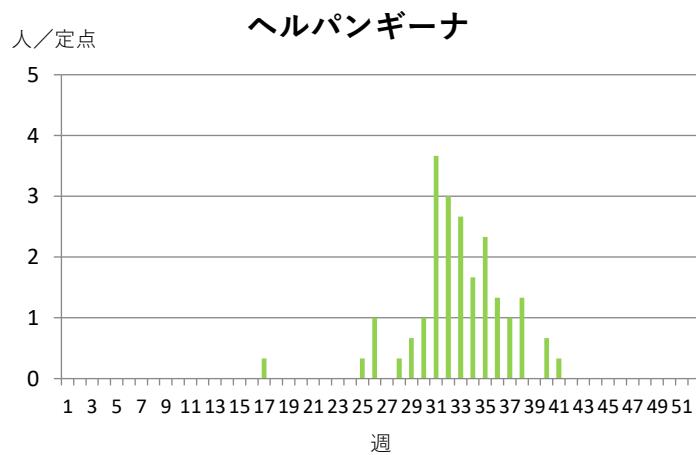
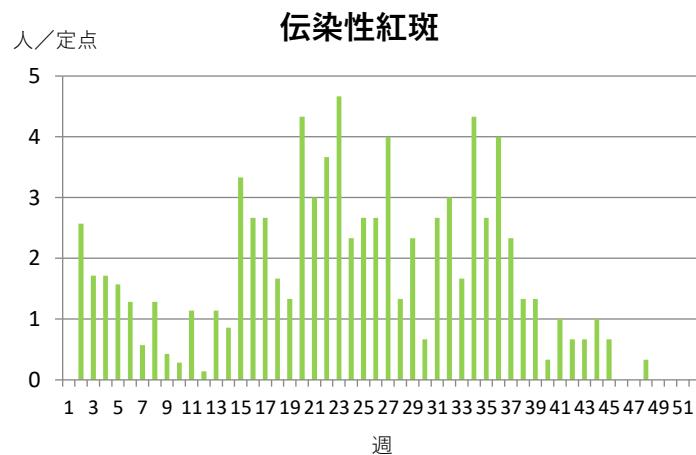
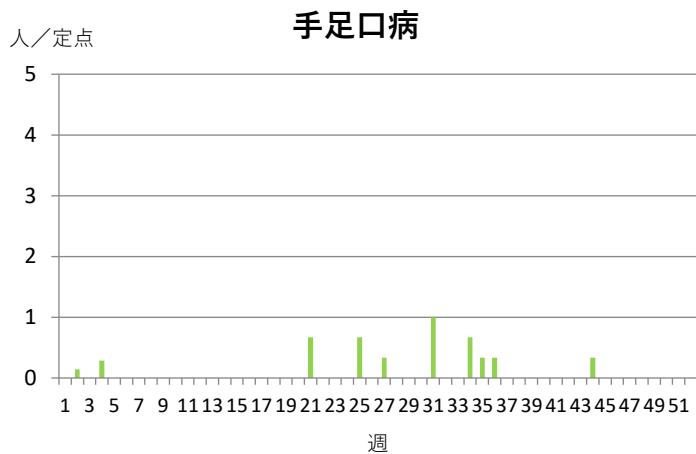


① 流水で汚れを洗い流し、手のひらで石けんを泡立てます。

令和7年（2025年）第48週 土浦保健所 定点把握対象疾患定点当たり報告数



令和7年（2025年）第48週 土浦保健所 定点把握対象疾患定点当たり報告数



<定点当たり報告数とは>

定点医療機関からの報告数を定点医療機関数で割り算した値です。言いかえると、1医療機関当たりの平均報告数です。

<茨城県の感染症発生状況>

茨城県感染症情報センターホームページでご確認ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/index.html>